

令和6年度 保護者会

令和6年4月12日（金）

全校保護者会 13:45～

場所 体育館

内容 ①校長より挨拶・職員紹介

②副校長より

③教務部より

④生活指導部より

⑤学習進路部より

⑥教育相談について

学年別保護者会 14:30～

場所 1年 旧音楽室 4F

2年 せせらぎホール 1F

3年 体育館

内容 ①1年間の学校生活全般（学習・生活など）について

②学年会計について

学級別保護者会 15:00～15:30

教務部より

1 年間行事予定 別紙

主な行事

- 5月 11日(土) 学校公開日
25日(土) 体育祭
- 6月 19日(水)～21日(金) 期末考査
- 7月 19日(金) 終業式
*夏休み中 三者面談
- 8月 28日(水) 始業式
- 9月 19日(木)・20日(金) 中間考査
*水泳指導 セントラルスポートへ
- 10月 24日(木) 音楽会
*10月31日～11月7日 三者面談
- 12月25日(水) 終業式
- 1月 8日(水) 始業式
- 2月26日(水) 27日(木) 学年末考査
- 3月19日(水) 卒業式
25日(火) 修了式

2 生活時程について

- (1) 月・火・木・金 6時間授業
水曜日 5時間授業

- (2) 朝読書
*電子図書 漫画 雑誌以外

令和6年度 福生市立福生第三中学校生活時程表

※通常生活時程【50分時程】

	月 火 木 金	水
登校	予鈴 8:25 本鈴 8:30	
職員打合	8:20～	
朝読書	8:30～8:40	
朝学活	8:40～8:45	
第1校時	8:50～9:40	
第2校時	9:50～10:40	
第3校時	10:50～11:40	
第4校時	11:50～12:40	
昼食	12:40～13:10	
昼休み	13:10～13:25	
予鈴	13:25	
第5校時	13:30～14:20	
第6校時	14:30～15:20	
学活	15:25～15:35	14:25～14:35
清掃	15:35～15:50	14:35～14:50
下校	15:50	14:50

3 評価・評定について

(1) 評価について

生徒が学びを振り返り、改善しながら次の学びに向かうために評価をします。

生徒の日々の学習活動に取り組み、目標に対してどの程度達成したかを評価するものです。

(2) 観点別評価について

観点別評価とは、学力を多面的にとらえようとする考えから、教科ごとに各観点について、

A、B、Cの3段階で評価します。

(3) 評価の観点(各教科の観点で)

観点 (3 観点)

- 「知識・技能」
- 「思考・判断・表現」
- 「主体的に学習に取り組む態度」



観点別、学習状況の評価	
十分満足できる (達成度 80%以上)	A
おおむね満足できる (達成度 50%以上 80%未満)	B
努力を要する (達成度 50%未満)	C

(4) 5段階の評定について

3つの観点別評価を総括したものが、5段階評定になります。

観点別、学習状況の評価	
十分満足できる (達成率 80%以上)	A
おおむね満足できる (達成率 50%以上 80%未満)	B
努力を要する (達成率 50%未満)	C



各観点の
総括を
行う

評定	
特に程度の高いもの (達成率 90%以上)	5
十分満足できる (達成率 80%以上 90%未満)	4
おおむね満足できる (達成率 50%以上 80%未満)	3
努力を要する (達成率 20%以上 50%未満)	2
一層努力を要する (達成率 20%未満)	1

(5) 評価・評定の流れ

ア 観点ごとに、評価材料 (テスト、提出物、実技など) について評価基準に基づいて得点化し合計を求めます。

イ 観点別の評価点の満点に対するその生徒の得点の割合(達成率)によって観点別評価のA、B、Cが決まります。

ウ 観点ごとに、観点到観点別の達成率を乗じて得た点数の合計が各観点を総括した点数(100点満点)となり、これによって評定を決めます。

※A、B、Cの数で評定が決まるわけではなく、総括点から評定を決めます。

その他

本校では、1学期、2学期は学期ごとの評定、3学期は学年末評定になります。

学年末評定は、**1～3学期を総括**したものになります。

※ただし、**3年生の2学期の評定は、入試の関係で、1、2学期を総括**した評定になります。

※「評価説明資料」については、別紙の記入例になります。

(記入例)

令和6年 月 日

福生市立福生第三中学校

〇〇科担当 〇〇 〇〇

評価の観点	単元における学習内容	評価材料及び資料	換算後の配点
知識・技能	<学習内容> ○正負の数 ・符号のついた数 ・数の大小 ○加法と減法 ・加法 ・減法 ・加法と減法の混じった計算	○定期考査（中間・期末） ○単元テスト ○小テスト	100/3
思考・判断・表現	○乗法と除法 ・乗法 ・除法 ・四則の混じった計算 ・数の範囲と四則	○定期考査（中間・期末） ○単元テスト ○小テスト	100/3
主体的に学習に取り組む態度	○正負の数の利用	○授業の振り返り ○課題プリント ○テストの振り返り ○問題集実施状況	100/3

〇学年〇科 〇学期の評価・評定について

〇〇科の学習活動の評価については、下記の通りです。

観点別評価について

- 知識・技能
- 思考・判断・表現
- 主体的に学習に取り組む態度

観点別、学習状況の評価	
十分満足できる（達成度80%以上）	A
おおむね満足できる（達成度50%以上80%未満）	B
努力を要する（達成度50%未満）	C

5段階の評定方法

※3つの観点別評価を総括して、5段階評価を決定します。

観点別、学習状況の評価	評定	教科
十分満足できる	→ 特に程度の高いもの（達成度90%以上）	5

(達成度 80%以上)	A	統括	十分満足できる (達成度80~90%)	4
おおむね満足できる	B		おおむね満足できる (達成度50~80%)	3
努力を要する	C		努力を要する (達成度20~50%)	2
(達成度 50%未満)			一層努力を要する (達成度20%未満)	1

◇総合的な学習の時間について

自己の生き方・自己決定力

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、資質・能力を育成する。いかに社会が変化しようと、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。

- 1、地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに身近な地域からスタートし、中規模エリア、広域さらに諸外国に広げ、各地域の特徴やよさに気付き、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
- 2、地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
- 3、互いのよさを生かしながら、共に学び、自己理解・他者理解を深め、自ら社会に参画しようとする態度を育てるとともに、自己の生き方を考え、自己決定力を身に付け自身の進路実現にむけて自己実現する力をはぐくむ。

【三年間で育てる生徒像】 <自分の未来を切り拓き、自分の将来に夢や希望をもち、自立して卒業できる生徒>

学年	第1学年（50時間）	第2学年（70時間）	第3学年（70時間）
テーマ	自己理解から他者理解、相互理解 ～ 自己実現にむけて ～		
	身近な地域の中で学ぶ	社会（中規模地域）の中で学ぶ	視野を広げて学ぶ
探究課題	1 キャリア教育 I （1）自己理解・他者理解 （2）職業学習 総合の学び方学習 2 身近な地域の中で学ぶ （1）身近な地域学習	1 キャリア教育 II （1）働くことから学ぶ （2）職場体験学習 2 中規模地域の中で学ぶ （1）東京課題研究	1 キャリア教育 III （1）自己決定力トレーニング （自己理解） （2）進路の自己実現にむけて 2 視野を広げて学ぶ （1）古都の伝統文化学習

◇朝読書の取り組み

- 1、目的
 - ・読書に親しむ態度を育成し、読書習慣を身につける。 ・自主的に読書する。
 - ・言語に対する関心や理解を深める。 ・言語を磨き、感性を磨き、視野を広げる。
- 2、読書で培うこと
 - ・言葉の知識、読解力、情報収集（ヒント）、脳の活性化、想像力
- 3、内容
 - ・自分で本を持参する。（学級文庫や図書室の本を前もって借りてもよい。雑誌や漫画を除く。）
 - ・朝 8:30～8:40 の10分間読書をする。
 - ・「読書の記録カード」は金曜日に一言感想を記入して提出する。（読書の記録とする）

◇キャリアパスポートについて

各学期の初めと終わり・行事（体育祭と音楽会）で記入をしています。小・中・高等学校段階のキャリア教育をつなぎ、12年間の見通しをもって、より効果的に児童・生徒のキャリア形成を図っていくことを目的とするものです。自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現を図っていくことを目指しています。

高等学校等の入試における推薦の取り扱いについて

高校入試には、一般入試と推薦入試があり、都立推薦入試の場合には、学力試験が基本的には課せられない入試制度です。私立推薦入試の場合には、高校側から示される条件が必要となります。どちらも基本的に校長の推薦が必要となります。

校長推薦が認められる生徒は、三年間学習と生活面（委員会、部活動、行事、学級の仕事など）において、責任をもって一生懸命に頑張ったことが認められる生徒です。そして、三中を代表する生徒として、進学先の上級学校でも他の生徒の模範になるように学習、生活面の活躍が期待される生徒です。

三中には校訓として「礼節」があります。「礼節」とは、礼儀正しく、自分自身を律し、相手を敬い（友達の良いところを認める、先生と生徒の立場をわきまえる）、責任ある行動ができる生徒と考えています。

また、高等学校等を推薦受験するには次の条件があります。

- 1 志望校が第一志望であり、合格したら必ず入学すること。
- 2 志望校が示す推薦の条件に、本人が合致していること。
- 3 三年間学習面と生活面に一生懸命に頑張り、高校でも他の生徒の模範となつて行動できる（学習面、生活面）ことが期待されると判断された生徒。

1 推薦生徒の決定について

校内の推薦検討委員会及び職員会議の検討を経て、校長が承認します。

2 推薦に支障をきたす、または推薦できない例

- (1) 触法行為（バイク無免許運転、飲酒、喫煙など）を起こす。
- (2) 以下のことを繰り返し注意しても、指導に従えない。
 - ① 頭髪（染毛、脱色、特殊な髪形など）、服装（シャツ出し、スカート丈、ネクタイ・リボン）や身だしなみに問題がある。（化粧、マニキュア、ピアス、指輪など）
 - ② 挨拶ができない、掃除をやろうとしない、チャイム着席等のルールやきまりが守れない。
 - ③ 授業中の私語、授業妨害など、他の生徒の迷惑になるような行動をする。また、授業中に寝る、ノートや教科書を出さない。
 - ④ いじめの加害者である、人を傷つける行為をする（SNSを含む）、人に不快感を与える言動をする。

福生第三中学校では、高等学校等が示す条件を満たすことができない場合を除いて、学校として自信をもって全員推薦できるようにしたいと考えています。そのためには上記の内容を踏まえ、生徒のみなさんが学校生活を一生懸命に取り組む姿勢がなによりも大切です。校訓としての「礼節」が実行できるように、みなさん、頑張ってください。また、保護者の皆さま、生徒本人への励ましを宜しくお願いいたします。

令和6年4月

保護者の皆様

福生市立福生第三中学校
校長 増木 一仁

三中教育相談について

初夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

生徒たちは新しい学年、学級にも慣れ、活発に活動しているところです。しかし中学生のこの時期は、心身が急激に発達し、成長にアンバランスが生じたり、ホルモンや神経の働きが乱れたりする時期でもあります。感受性が強くなったり、対人関係を難しく感じたりすることもあり、大人からは分かりにくい内面的な悩みを抱えやすくなります。また、学習面や生活面で、オーバーワークやストレス等も増えてくる時期です。これらのことをしっかり踏まえ、私たち大人が子ども一人ひとりに適切に接していくことが、子供たちの成長に欠かせません。

お子様と接する中で、「何を悩んでいるのか分からない…」 「授業が分からなさそう…」 「最近元気がない、食欲がない…」等、どんなことでも結構です。是非ご相談ください。

1 特別支援コーディネーターについて

各クラスの学級担任にご相談いただくことが多いと思いますが、特別支援コーディネーターが2人おります。関係諸機関との連携も行っておりますので、お気軽にご連絡ください。

特別支援コーディネーター 田中 悦子 (1学年副担任)

棟方 彩恵 (養護教諭)

福生三中

☎042-551-9301

特別支援教室(せせらぎ教室) 直通 ☎042-551-9310

2 スクールカウンセラー・相談員について

臨床心理士の資格をもつスクールカウンセラーとの面談をご希望の場合は、ご予約後、相談することができます。予約につきましては、学級担任かコーディネーターを通してお申し込みください。

スクールカウンセラー 橋本 薫 月曜日(9:30~17:00)

スクールアシスタントティーチャー 三浦 尚香 月~金曜日(昼休みまで)

スクールソーシャルワーカー 上岡 喜美子 火(午前)・木(午後)

【 三中相談室の場所：校舎1階(応接室前) 】

3 福生市教育相談室について

福生市教育相談室は、臨床心理士、精神保健福祉士の資格をもつ先生を含め、10名を超えるスタッフで対応しています。事前にコーディネーターに相談し、コーディネーターから学校へ連絡することも可能です。

福生市教育相談室 ☎042-551-7700 月~土 8:30~17:15